

# ひと足はやい春の訪れ チャセンバイ（茶筌梅）開花しました！



1 cmほどの小さな花を咲かせるチャセンバイ(2/7 撮影)

国営昭和記念公園（立川市・昭島市）では、昨年より2週間ほど早く“チャセンバイ（茶筌梅）”が開花しました！（@花木園梅園）

花びらが退化し、残った雄しべ・雌しべが茶筌（チャセン）のように見えることから、その名が付いたとも言われるチャセンバイ。開花しているのに、まるで花びらが散ってしまったかのような花姿をしています。ウメの園芸品種は約300種類と言われていますが、チャセンバイは原種に近い野梅系に位置付けられています。公園内に87品種あるウメの中でも園内にはたった1本しかない、非常に珍しい品種です！

その他にも花木園梅園では、八重野梅、鶯鶯など他の品種も見頃を迎えております。

## 【早春の花、次々と開花を始めています】

同じく、花木園梅園ではシナマンサクも開花を始めました。花の咲き始めの時期がマンサクより1か月ほど早く、花が咲いているにもかかわらず昨年枯れた葉がついているという不思議な姿をご覧ください。ウメが咲き誇るその足元には、園内に4,100芽あるフクジュソウも次々と花を咲かせ始めました。

今年は暖かい日が多いためか、早春の花が次々と開花を迎えています。ひと足はやい春の訪れを感じる花たちの取材・記事の掲載のほどよろしくお願いたします。



早咲きのウメ（八重野梅・鶯鶯）(2/7 撮影)



リボン状の花びらが特徴的なシナマンサク (2/7 撮影)